

発行責任者 中田慶子
〒850-8799長崎中央郵便局 私書箱第7号
FAX 095-832-8488 DV防止ながさき
HP : <http://www.no-dv-nagasaki.net/>
E-mail dv_greentomato@yahoo.co.jp
郵便振替口座 01730-6-103415

グリーントマト

2023 謹 賀 新 年

皆様、新年おめでとうございます。去年一年間は、ウクライナ情勢にどうしようもない怒りと無力感を抱き続けた方が多かったのではないのでしょうか。

戦争にともなうエネルギー不足、食料流通の滞りは、生活のあらゆるところに影響し、光熱費の値上がり、物価高騰となって、それはそのまま社会的に苦しい立場にあるものへの直撃となりました。新型コロナウイルス感染症も次々と変異種が現れて、いつになったら安心して暮らせるのか、まだ見通しが立ちません。国は生活支援のために臨時給付金の支給など、それなりの対策はとったものの、いずれも申請手続きが必要で、DVや虐待で避難中の方、住民票を異動しないまま生活せざるを得ない方々にとっては、不自由もありました。(DV被害を受けたことを申し出れば住民票住所地でなくてもコロナワクチン接種や給付金が受けられるようになったことは、この混乱の中でも変化だとは思いますが)。

さて今年は、重要なテーマの法改正が予定されています。DV防止法の第5次改正も、現在は身体的暴力だけがDVの保護命令の要件ですが、精神的暴力や性的暴力まで含むような改正となるかどうか？、また保護命令違反の罰則を懲役1年から2年に延長し厳罰化できるか？、加害者対策は？などが注目されます。

また、国の法制審議会(家族法)では、離婚や別居後の親子に関わることについて、いろいろなルールが決められようとしています。政府は、試案「家族法の見直しに関する中間試案」に対して、2月17日締め切りでパブリックコメントを募集中です。たとえば、現在は離婚したら父母どちらかの「単独親権」ですが、両親ともに権利を持つ「共同親権」へと変更が検討されたり、面会交流の義務付けへの動きもあります。DVで離婚した後の面会交流の強制は、母親の不安を高め、子どもにもいろんな影響を与えているのですが、一般的には、「子の福祉」の名のもとに離婚後も親子が会うのは良いことだとか、DVはあっても子どもには暴力を振るわなかったのなら面会交流をすべきなどの意見も多くあり、DV被害の支援活動をしている立場からは不安があります。今のままでも、両親が話し合える関係での離婚の場合は、問題なく面会交流が実施されているので、あえて法律で決めて強制するようなことではないと思います。

また、緊急避妊薬の薬局での販売を認めるかどうかについても、1月31日締め切りでパブリックコメントを募集しています。「私の身体は私のもの、私が決める」という権利を日本でも大事にしてほしいと思います。私たちの経験から基づく声を国へ伝える、そんな一人一人の行動が社会を変えていくことにつながります。(この二つのパブリックコメントの送付先は、4ページに掲載しています。)

ため息をつきたくなるようなことばかりの昨今ですが、何があってもめげない、人とつながる、一緒に声をあげることで、少しでも良い社会を次世代につないでいきたいと切実に思う新春です。

理事長 中田慶子



「DV根絶のための連続講座」今年も盛況でした！



令和4年12月4日（日）アマランス研修室で開催

アマランス（長崎市男女共同参画推進センター）との共催で実施。昨年ほどの寒さもなく、換気のために休み時間ごとに窓を開けていましたが、暖房が効いて過ごしやすい1日でした。

例年、時間が足りないとの感想が多いため、各項目の時間を60分～90分に延ばし、参加者に十分満足のいく内容となったと思われます。各方面へのご案内、ふれあい掲示板での広報などを実施し、今年度は延べ127人（男性13人）の参加がありました。今回の参加者も、相談に携わっている方だけでなくDVに関心を持ってくださった方も多く、関心の広がりを感じ心強く思うとともに、今後も継続していかなければと決意を新たにしました。

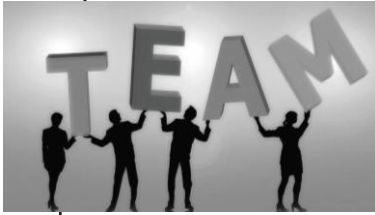
下記に感想を一部掲載していますのでご覧ください。

<感想の一部をご紹介>

- ・内容がとても充実していました。期待以上でした。
- 「学校化」「もっともらしい姿をした家族主義では？」は目から鱗でした。
- ・新しい知見があり、とても参考になった。充実した内容でした。ありがとうございました。
- ・DV関連の専門機関の貴重なお話が聞けて充実した学習ができました。今年は、特にDV支援現場の話にフォーカスした内容だったと思います。今は頭がいっぱいいっぱいなので、ここ数日で頭の整理をしたいです。
- ・どの講座も、深く日々の生活の中に根差しているのだなと思いました。
- ・北仲先生のお話の後、質疑応答などあるとより良かったと思います。とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・女性へのDVの中で、女性ではなく男性（加害者側）が変わらないといけないという点において、それは男女共同参画でも同じだし、構造が変わらないといけないと思った。



回	時間	内容・講座テーマ	講師
	10:00～10:10	初めに	男女共同参画推進センター センター長 坂本 恵子さん
1	10:10～11:00	「DVの基礎知識」	NPO法人DV防止ながさき 理事長 中田 慶子
2	11:10～12:10	「DVと警察」 ～警察のDV対応について～	長崎県警察本部生活安全部 人身安全対策課 課長補佐 野村 政和 さん
	12:10～13:00	— 昼 休 み —	
3	13:00～14:50	「変わりつつある『女性に対する暴力』支援 (DV、性暴力)」※ビデオ講演	広島大学ハラスメント相談室 准教授 北仲 千里 さん
4	15:00～16:30	「DVを通して見る現代日本の家庭と子供の 成長」	NPO法人school(スクート) 代表 内海 博文 さん
5	16:30～16:35	まとめと挨拶	NPO法人DV防止ながさき 理事長 中田 慶子



(長崎県委託事業)

☆DV被害者の支援者研修会のお知らせ☆ 「DV被害者支援の多様化に対応するために」 ～柔軟な関係機関の連携とは～

DV被害者の方が背負っている課題が複雑で、多岐にわたるケースが増え、支援に悩むことが増えてきたように思います。機関連携の必要性も高くなってきています。

長年、佐賀県DV総合対策センター長として、多くの事例に対応し、また内閣府の各種暴力対策関係の委員経験も豊富な原健一さんに、いろんなヒントを伺いたいと企画しました。

講師:原 健一(はら けんいち)さん

NPO法人 DV対策・予防センター九州 理事長

前佐賀県DV総合対策センター 所長 (平成19年4月～令和2年3月)

佐賀市生活自立支援センター長、 ジャパンマック福岡支援員

日時:2023年2月5日(日)14:00～16:30

場所:長崎市立図書館 多目的ホール (ハイブリットで開催予定)

対象:県内で各種相談支援にかかわる活動をされている方

締切:1月25日(水)

問い合わせ・お申込み NPO法人 DV防止ながさき

FAX 095-832-8488 メール dv_greentomato@yahoo.co.jp

* 氏名、所属機関、職種、連絡可能な電話番号、メールアドレスを
明記の上、お申込みください 先着順・無料

長崎市民会館いちょう並木フェスタに参加

11月27日(日)10時～16時 市民会館地下ホール

今回は、被害者の声を書いたTシャツとDVやデートDVを説明したパネルを展示して、訪れた人たちに見ていただきました。周りの参加店は、服や手作り小物、アロマから占いまで多岐にわたり、担当したメンバーも楽しく過ごせました。

立ち寄ってくださった方の中に、現在被害を受けている生徒に関わっている関係者や、過去に支援して苦労した方などがおられました。じっくり話をしていられる方も数人おられ、当会の活動の紹介、電話・SNS相談などを案内することが出来、このイベントに参加して本当に良かったと思いました。

来年は皆様もお出かけください。

→ 银杏フェスタでの
展示の様子



今年も予防教育の講師養成講座を開催しました

2022年（令和4年）度 DV 予防教育指導者養成スキルアップ講座のご報告

長崎県の委託事業の一環として毎年開催しているDV予防教育の指導者養成講座は、コロナ感染症のため、3年連続でオンライン形式となりました。8月21日終日と27日・28日（午前中）の3日間に分け基礎講座とグループワークを実施しました。参加者は教員、相談員、支援団体などで18名。オンラインということで、会員を含めて遠方からの参加者も多く、本当は対面での研修会が望ましいのですが、参加しやすいという点ではオンラインは有効です。



1日目は、DV・デートDVに関する基礎知識、DVがおよぼす子どもへの影響や予防教育の必要性など盛りだくさんで、質疑応答も含めて10時から16時まで皆さん熱心に参加されました。日を変えてのグループワークでは模擬授業を実施。しっかりと実践を積み重ねました。参加された皆さま、2日間本当にお疲れさまでした！

毎年、この研修会でいろんな意見をいただいて、さらにその後、教材の見直しを行い、現場のニーズと社会情勢に見合った内容にできるよう、9月からの教材を更新しています。今年度は参加できなかった方も、来年度は是非ご参加ください♪

感想（一部）

- ・資料説明もですが皆様と意見交換ができたことがとても有意義でした。
- ・毎回感じるのですが、新しい情報を得るとともに、改めて原点に戻ることのできる、とても有意義な研修でした。

自治体として、予防教育実施の予算化をいただいているのは、現在、長崎市（アマランス）、諫早市、壱岐市、大村市・佐世保市・雲仙市・平戸市・長与町です。

このほかの地域からの授業依頼を受けることもあります。自治体の支援がない場合などは何とか予算を工面され学校主催で実施できる場合もありますが、断念される学校もあり、とても残念に思います。当会としても、従来以上に行政への働きかけをしようと考えています。

皆さまのご協力により、令和4年度は、コロナ禍にも関わらず中学と高校合わせて98校の授業を実施することができ、対象は例年より多く16,900人を超えました。

学校側のニーズの高さを示すものと気の引き締まる思いです。

☆私たちと一緒に授業をしてくださる方を大募集中です☆ ご連絡お待ちしております！

パブリックコメントであなたの意見を届けましょう！

①「緊急避妊薬のスイッチOTC化（薬局での販売）に係る検討会議での議論」についての意見募集
コンドームが破れた、避妊に失敗した、性暴力被害にあった…どんなに気をつけていても、誰にでも起こりうるできごと。できる限り早く、72時間以内に服用することで高い確率で妊娠を防ぐことができる緊急避妊薬（通称 アフターピル）は、海外の約90カ国では、薬局で薬剤師から購入することができ、一部の国では無料で提供されています。

一方、日本では、医師の診療と処方箋、そして高額な費用（約6000円から2万円程度）を要します。
「緊急避妊薬のスイッチOTC化に係る検討会議での議論」に関する意見の募集について | e-Govパブリック・コメント（締め切りは1月31日）

②「家族法制の見直しに関する中間試案」に関する意見募集のパブコメは以下から
「家族法制の見直しに関する中間試案」に関する意見募集 | e-Govパブリック・コメント

（締め切りは2月18日）



この問題について、詳しい情報を知りたい方は、こちらの団体のサイトが参考になります。

<https://www.kidsvoicejapan.net>

「いつもあたたかいご支援を ありがとうございます！！」

☆国際ソロプチミスト(SI)長崎さま、佐世保さま、また新たに佐世保パールさまからも、デートDV予防教育事業への助成金をいただき、授与式では、各地域の学校での予防教育の実施状況についてなど、ご報告させていただきました。

☆資生堂様からは、全国シェルターネットを通じて手指消毒剤や化粧水のご寄付をいただきました。また、個人の方々からも、被害当事者の方々のために、ご寄付や支援品を提供していただいております。心より感謝いたします。



令和4年度「ララ元気ねっと特別支援事業」のご報告

11月13日(日)に男女共同参画推進センター「アマランス」で、ララコープ生協の「ララ元気ねっと特別支援事業」の助成金を活用して、「子どもも大人も楽しもう！クリスマスツリー作り」を開催しました。参加者は4歳から70代まで幅広い年齢で、スタッフを含め40名の参加でした。(急病やケガで参加できなくなった方が数名いらして残念でした。)

毎回幅広い年齢の方が参加されるので、子ども用に簡単にできるツリーも準備していただいていたのですが、ほとんどの子どもたちが大人と同じツリーに挑戦していました。

大人用は三角錐の発泡スチロールにグリーン系の葉(ヒバ・スギ・コニファー)を細い針金を使って貼り付け、たくさんのオーナメントの中からそれぞれ気に入ったものを飾り付け、とてもかわいい個性的なクリスマスツリーが出来上がりました。

毎年恒例となったフラワーアレンジを参加者は毎回楽しみにされていて、同窓会さながらに「久しぶり！」「〇〇ちゃん大きくなったね！」と楽しそうな声が聞こえてきました。

参加者からサポーターに届いた感想を少し紹介します。

「ほんとに楽しかった、葉の香りに癒された」「1年ぶりの再会がとてもうれしくて、つらい中でも頑張っている人を見て、自分も頑張ろうと思えた」「同じ材料でも一つ一つ違うツリーができるんだとしみじみ思った」「家の中が楽しくなりました」等々の声が寄せられ、皆さんおしゃべりも楽しめ、楽しいひと時だったようです。

多忙な中、時間のやりくりをして毎年講師を引き受けてくださっている丸野先生、ありがとうございました。



～赤い羽根募金「使い道を選べる募金」ご協力のお願い～



今年も赤い羽根特別募金の時期となりました。今年のテーマは「被害者が新生活に必要な家具家電品」です。標金額は66万円。

2023年1月1日～3月31日の 期間限定寄付です。

振込用紙つきのチラシを同封していますのでご利用ください。

*お手数ですがATMでは振り込みができないため、郵便局窓口での振込をお願いします。

*来年(2024年)2月の確定申告手続きで所得税の控除ができます。

郵便振替口座 01870-8-22522 社会福祉法人長崎県共同募金会
通信欄に「住所、氏名、連絡先」を必ずご記入ください。

※昨年の赤い羽根特別募金では目標額(30万円)を超える寄付をいただきました。おかげさまで、「予防教育テキストのリニューアル」を実現できることになり、現在作業を進めています。

毎年、多くの方にご支援いただき、本当にありがとうございます。

☆☆DV加害者プログラムファシリテータ養成講座のご案内☆☆

2023年度のDV加害者プログラム実施に向けて、運営のお手伝いをしてくださる方を募集しています。関心のある方、ぜひ振るってご参加ください。

講座テーマ 「DV加害者非暴力教育プログラムの取組みと課題

---加害者臨床の現場から見えてくること---

- 講師:原健一 氏(NPO法人DV対策・予防センター九州 理事長)
- 日時:2月5日(日) 10:30～12:00
- 場所:長崎市立図書館多目的ホール
- 受講料:無料 ※資料代500円 (対面研修のみ)
- 予約申込締切:1月31日
- 申込連絡先 電話・070-2833-7399 メール・info@nondv.com
(申込時は、お名前・ご所属・連絡先を明記ください)

*4月開始予定の加害者プログラム受講者も募集しています。
「自分の暴力について相談したい」「暴力的な言動を直して、パートナーと良好な関係を築きたい」という方に、ぜひご紹介ください。

主催:ながさきDV加害者更生プログラム研究会





お勧めの本たち

「ネガティブ・ケイパビリティ」

帯木 蓬生 朝日新聞出版 2017

この本に出会ってほっとしたり、励まされたり、これでいいんだと思う方は多いと思う。特に医療や介護など様々な支援の現場にいる方は、効率主義では測れない、短期間の成果も得られない、答えの出ない事態に直面し焦ってしまう。しかし、この答えの出ない事態に耐える力(ネガティブ・ケイパビリティ)こそが必要なのだと、ずっと納得できる。精神科医としてまた小説家として活躍する著者の長年の思いが詰まった著作。

同じ作者のさまざまな小説も、また第二次大戦中に戦争にかかわった医師たちの記録をまとめた「蛍の航跡」「蠅の帝国」(新潮文庫)もぜひ読んで欲しい。



「プリズン・サークル」

坂上 香 岩波書店 2022

日本で唯一、服役中の受刑者が対話を通して自分を見つめ直すことで、自分の犯した罪や背景を理解して更生をはかるプログラムを実践していた刑務所があった。(今は行われていない)。その現場を取材して映像化した映画「プリズン・サークル」はとても素晴らしい作品だった。この本は坂上香監督が、その取材過程や登場する受刑者の一人一人にさらに詳しく迫り、なぜ彼らが犯罪を犯してしまったのかを掘り下げ、読む私たちにも彼らと同じ社会に生きている責任を問いかけてくる。



「DVIにさらされる子どもたち」

ランディ・バンクロフト 幾島幸子 訳 金剛出版 2022



DV環境に置かれるということが、子どもたちにどのような影響があるのか、大人たちはあまりにもその影響を過小評価してはいないだろうか。「子どもたちは暴力を見てません」「子どもにとってはいい親でした」などなど。しかし、子どもたちに長年にわたって深刻な影響を与えるDVについて、大人はもっと知るべきだと思う。

長年の支援経験から語る著者の言葉は説得力がある。子どもの支援にかかわる人にはぜひ読んで欲しい一冊。

以前の本が復刻出版され、読みやすくなっている。



これからのイベントのご案内

☆2023年第7回 ながさき・愛の映画祭 1月28日(土)・29日(日)
映画「片袖の魚」「パブリック 図書館の奇跡」「海辺の彼女たち」
その他にも、ベストフレンドマッチング、ヒューマンライブラリなどイベントたくさん
会場:長崎ブリックホール国際会議場 ラウンジほか 2年ぶりに対面で開催
料金:前売券1300円 当日券1500円
<https://nagasakiainoeigasai.jimdofree.com/>



☆「知的障がい・発達障がいへの理解と支援について」3月5日(日)13:50~16:00
講師:相川 勝代さん 精神科医 2021年度秋 瑞宝中綬章を受章
会場:諫早市社会福社会館(諫早市真横道町948)
参加費:500円(当日受付で支払い)

デートDV防止全国ネットワークの活動

「デートDV防止スプリングフォーラム」
令和5年3月12日(日)一部ハイブリッド開催♪
会場:東京都ウイメンズプラザ 10:00~16:30
今年のテーマは「いまこそデートDV予防教育を」(仮)
申し込みはこちらから <https://notalone-ddv.org>(有料)



今年のフォーラムの基調講演は「DVの社会的コストについて」です。DVは、個人が被害を受けるだけと思われがちですが、DVは社会構造を背景に起きており、その暴力の影響は個人だけでなく社会全体に及びます。社会福祉、生活保護、児童の支援、相談機関、警察、裁判所、医療、いろんなところに実は膨大なコストがかかっています。このコストについて研究されてきた中央大学副学長の武石智香子教授に最新の研究結果をお話していただきます。その他、「デートDV予防教育の実際」として各方面からの提案、活動紹介の分科会3つ、また、イブサンローランの活動、YSL BEAUTY グローバル活動「ABUSE IS NOT LOVE」など、いつものように盛りだくさんのテーマのイベントです！

* 詳しくは、上記ホームページをご覧ください

DV防止ながさきの電話相談・SNS相談

暴力を我慢する必要はありません。週4日、夜も電話を受け付けています。何度かけてもかまいません。秘密は守ります。名前を言う必要はありません。夫や恋人との関係、今のこと、昔のこと、心に引っ掛かっていることをとにかく話してみませんか？ 必要があれば専門機関へつなぐこともできます。



※ 面接は要予約です。安全な場所でお話を伺います。

月・水・土 13:00~17:00 ☎ 095-832-8484

月・水 19:00~21:00 ☎ 095-832-8484

火 17:00~20:00 ☎ 080-2794-8022

* SNS相談

月 午後 15:00~20:00 履歴が残らないシステムです。安心してどうぞ。

チャット相談は 右のQRコード(HP)から

